

産業技術センターの 活用方法をご提案します

参加
無料

令和4年度鳥取県産業技術センター活動成果発表会

企業の皆さまに産業技術センターの活動を知っていただき“もっと”ご利用していただくために、昨年度に引き続き「活動成果発表会」を開催します。第1部ではセンターご利用企業の皆さまと共同開発した事例などを紹介し、第2部では分科会に分かれてセンターが保有する技術や機器等をご紹介いたします。さらに、各研究所でラボツアーも開催します。お気軽にご参加ください。

日時 令和4年11月21日(月) 13時30分から16時40分まで

方法 ハイブリッド開催（現地開催+オンライン配信）

第1部 企業との共同開発事例の紹介

13:40 身体装着型移動支援機器の開発

電子システムグループ 研究員 楠本 雄裕
開発パートナー：(有)ホームケア渡部建築



パーキンソン病の「すくみ足」の改善を手助けする補助具の電子回路や筐体の設計・試作、放熱対策などを支援しました。製品化までの技術支援の内容についてご紹介します。

14:00 新たな電解研磨手法によるステンレス鋼表面の超平滑化

無機材料グループ 研究員 田中 俊行
開発パートナー：(株)アサヒメック



サポートインダストリー事業においてステンレス鋼の表面を超平滑に仕上げる新たな電解研磨手法を開発し、特許を取得しました。企業と取り組んだ共同研究の成果についてご紹介します。

14:20 オリジナル乳酸菌を用いた酸味に特徴のある「サワービール」の開発

農産食品・菓子グループ 首席研究員 茂 一孝
開発パートナー：久米桜麦酒(株)



自然界からオリジナルの乳酸菌を分離し、試験醸造などを支援しました。さわやかな酸味に特徴のあるサワービールの製品化までの過程についてご紹介します。

◎発表内容についてのご要望・質問等は、別途アンケートフォームにてお受けします。後日、担当研究員がメールまたはご訪問等により回答させていただきます。

第2部 各研究所の活動成果発表

14:45 分野別分科会

3つの技術分野に分かれた分科会形式で、研究成果や保有機器を用いた支援事例について、担当研究員が発表します。

①電子・有機素材分科会

(AI技術、電気回路設計・信頼性評価、有機材料の強度評価)

②機械素材分科会

(耐候性促進試験、設計・試作のDX化、産業用ロボット)

③食品開発分科会

(食品カプセル化技術、香りと味の可視化、活用賞味期限延長)

◎プログラムの内容は裏面をご覧ください。

※オンライン参加の場合、分科会を横断した参加も可能です。ご興味のある発表をご聴講ください。

裏面プログラムの「参加希望欄」に○をつけてお申込みください。

15:40 ラボツアー（現地参加の方のみ）

各研究所の施設見学をしながら、機器利用による技術支援や研究事例紹介などを担当研究員が行います。

[申込方法]

★センターホームページの申込フォーム
<https://tiit.or.jp/3202/5450/221121/20221121/>

★裏面の申込書をFAX or Mail
FAX : 0859-44-0397

Mail : tiit-shokuhin@tiit.or.jp

★参加方法の詳細については、別途メール連絡いたしますので、お申し込みの際はメールアドレスを必ずご記入ください。



★申込受付中!

[お問い合わせ先]
各担当者まで電話でお問い合わせ下さい。

電子・有機素材研究所 担当：谷岡 (0857-38-6200)
機械素材研究所 担当：吉田 (0859-37-1811)
食品開発研究所 担当：梅林 (0859-44-6121)

各研究所の活動成果発表

電子・有機素材分科会（開催場所：電子有機素材研究所（鳥取市））

参加
希望

A1	14:50~	【技術シーズ紹介】 生産工程に適用できるAI技術と今後の動向	電子システムグループ 研究員 田中 章浩	
A2	15:05~	【保有機器紹介】 電気機器開発における回路設計支援および信頼性評価	電子システムグループ 主任研究員 山根 知之	
A3	15:20~	【保有機器紹介】 ゴム、プラスチック、フィルム、電子部品の強度評価	有機材料グループ 研究員 村田 拓哉	

機械素材分科会（開催場所：機械素材研究所（米子市））

参加
希望

B1	14:50~	【保有機器紹介】 新規導入した耐候性促進試験機を活用した製品開発	無機材料グループ グループ長 寺田 直文	
B2	15:05~	【保有機器紹介】 3Dプリンターを活用した設計・試作のDX推進	機械・計測制御グループ 研究員 亀崎 高志	
B3	15:20~	【共同開発、ものづくり人材育成熟による支援】 生産性向上と作業環境改善のための「とっとりロボットハブ」を活用した自動化支援	機械・計測制御グループ 研究員 新見 浩司	

食品開発分科会（開催場所：食品開発研究所（境港市））

参加
希望

C1	14:50~	【研究成果活用】 液体食品のカプセル化技術開発	企画室 室長補佐 杉本 優子	
C2	15:05~	【保有機器紹介】 各種センサー活用による香りと味の可視化とその活用事例	水畜産食品グループ 研究員 長崎 稔拓	
C3	15:20~	【共同開発、ものづくり人材育成熟による支援】 販路拡大を目指した鳥取県産梨バウムクーヘンの賞味期限延長	農産食品・菓子グループ 研究員 高重 至成	

申込書

FAX : 0859-44-0397, Mail : tiit-shokuhin@tiit.or.jp

センターHPの
申込フォーム



参加希望する番号に○をつけてください

- 参加形態 : (1) 現地参加（各研究所で参加）・(2) オンライン参加
※現地参加の方へ人数調整をお願いする場合があります
- 参加研究所 : (1) 電子有機素材研究所（鳥取市）※現地参加の方のみ回答ください
(2) 機械素材研究所（米子市）・(3) 食品開発研究所（境港市）
- 第1部 : (1) 参加 ・ (2) 不参加
- 第2部 : 上記の活動成果発表プログラムの参加希望欄に ○ をご記入ください
- ラボツアー : (1) 参加 ・ (2) 不参加 ※現地参加の方のみ回答ください

企業名

所属・役職・氏名

電話番号

メールアドレス（必須）